

令和5年度第1回弟子屈町総合教育会議 議事録

日 時 令和5年11月28日(火)11時00分～12時00分

場 所 弟子屈町役場 3階 委員会室

出席者 徳永町長、ほか19名

協議内容及び発言内容(議事録要旨)

○定刻となりましたので、ただいまから令和5年度第1回弟子屈町総合教育会議を開催いたします。

1. 町長挨拶

皆さまご多忙のところご出席いただきありがとうございます。日頃より町教育行政の推進にご尽力いただきありがとうございます。

5月にコロナが5類になってから、慌ただしく1年が過ぎようとしています。今年を振り返ってみると、大変な夏の暑さだったと思っています。特に、夜、窓を開けて寝たのが、15日ぐらいありましたが、夜に窓を開けても室温が20度以上ありました。この暑さの影響を受けて、ビートは糖分18度が基準のところ、13～14度。牛乳もこの暑さで乳量が減少。教育関係では、子供たちが勉強、スポーツで活躍をして、新聞紙面に掲載されていると、嬉しいなと思って見ておりました。そういう中でありますけれども、本町の特色となる、中心市街地複合施設の建設ということで、プール、入浴施設、図書館、これらがひとつの施設に入るといって、大きな動きの中でこれから進んで行くこととなります。それぞれ教育委員会、教育委員の皆様からもいろんな面でアドバイスいただきながら、事業を進めてまいります。

2. 議題

【議題第1号】 弟子屈町教育大綱について

説明:まちづくり政策課 佐々木係長

弟子屈町教育大綱というのは、教育基本法で設置するよう定められているところですが、令和2年度の第2次の時に通知がありまして、教育委員会で策定している教育推進基本計画、こちらの方で教育大綱を兼ねることが可能ということが規定されました。前回同様、この第3次弟子屈町教育推進基本計画が、先日、町長の同意を得て策定され、公表されております。こちらの計画を、この総合教育会議で、教育大綱として認めていただくため、議題として提出させていただきました。よろしくお願いいたします。

○質疑応答なし … 承認

【議題第2号】令和6年度教育関係重点事業について

○学校教育関係

説明:(1)～(3)教育委員会管理課 山口課長
(4) 教育委員会管理課 武田室長

町と教育委員会で抱えている大きな事業ですとか、課題などにつきまして、町長部局との情報共有も含めて、説明させていただきます。

(1)各小中学校のエアコン設置について(事前資料No.1)

冒頭、町長からも話ありましたが、この夏の猛暑が、近年類を見ない暑さで、8月下旬には熱中症警戒アラートが北海道全域に発令され、また、熱中症とみられる症状で、女児が亡くなるという痛ましい事故も発生しました。そのため、道内の多くの学校でエアコンを設置する動きがあり、町内の学校にも、まずは、6校の保健室を最優先に設置したいと考えております。学校では、夏休みがありますので、子ども園や放課後児童クラブとは条件が異なりますが、保健室の次の段階では、普通教室や職員室などの設置も考えていきたいと思っております。管内でも、すべてのクラスにエアコンを設置するとなると、数億円もかかることとなりますから、公共施設全般の中で優先順位をつけながら対応する形になろうかなと思っております。その一方、来年の夏休みは例年では25～26日程度でありますけれども、冬休みよりも多くし、30日とする予定となっております。道立学校では、冬休みと夏休み合わせて合計60日ということで、これは先日の道教委の方で決定されました。弟子屈町でも改めて、校長会とも検討していきたいと考えております。

(2)奨学金償還支援制度について

奨学金の返還にあたって、地域内で働く若者へ償還を支援する場合に、特別交付税措置が、措置されるということとなっております。これまで、町の奨学金と日本学生支援機構の奨学金に関しまして検討してきましたけれども、他市町村の奨学金を借りている人に対しても、これらの支援を行うことについて、交付税措置されるということでありまので、町内での定住促進や働き手不足改善の手段として、教育委員会だけではなく、定住促進担当のまちづくり政策課とも打ち合わせしながら進めてまいりたいと考えております。

(3)弟子屈高校の魅力化と支援

弟子屈高校の魅力化につきましては、公設民営塾や今年度から位置づけられた地域連携校、同時に学校運営協議会において、地域一体となって学校運営を進めてきました。高校関連の資料5ページに、最近の進学率を記載しております。少子化の流れもありまして、高校進学率の減少が見込まれる中、弟子屈高校や弟子屈高校を支える会

でも、魅力化を進めながら、町外からの入学者の確保を目指して、令和6年度に地域未来留学制度に参加したいと考えております。参加したからといって、すぐに入学者が増えるという期待はできませんけれども、居住の問題など課題を含めて、地域で支える体制づくりにしていきたいと考えております。資料の11ページには、道内の状況が載っております。道内では20校が地域未来留学制度を実施しておりまして、本州の都市部から、地方に住んで留学していただく生徒が125人もいるという状況となっております。この事業に参加する前にも、高校への入学において、道外からの募集ということも進めていく予定となっております。

(4)不登校児童生徒に関する取組等について

不登校については、何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因、背景により登校しない、あるいは暴行したくない、あしたくてもできない状況にあるために欠席したもののうち、病気や経済的な理由を除くものとされ、年間30日以上欠席が目安とされております。本町では、不登校児童生徒が年々増加しておりましたが、令和3年度の24名をピークに、令和4年度の24名、そして、今年度については、10月末現在ではありますが、15名と、数値上では増加傾向に歯止めがかかっております。しかし、各家庭における考え方の多様化により、学校に通うことが正しいという従来の意識のままでは対応できない現状にあります。今後も、つながること、関わることを第一に考え、民間施設の情報共有も積極的に進めながら、相談しやすい学校体制の構築と、児童生徒、保護者との信頼関係の構築に努めてまいります。

教育長:各課題、色々ありますけども、都度、予算にかかるものは財政協議もしていきますし、ふるさと納税のおかげで、今までなかなか予算付けしづらかった部分も、配当してもらえるようになって、整備などを手がけられるようになってきた。そういう面ではすごく助かっていると思っています。今回、4番の不登校のことについては、町長にも、今のこういう状況だということ共有したいと思っています。だんだん改善はしてきているけども、なかなかゼロにはできないという状況です。いろんな家庭事情もありつつ、こういう状況があると。今日は、健康こども課の補佐も出席いただいていますので、やはり保健師も含めて、健康こども課とも情報を共有しながら、家庭に寄り添いながら、丁寧に進めていければなという風に思っていますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○各委員からの意見

金井委員:各小中学校のエアコンの設置についてなんですけども、先ほど町長がおっしゃったように、今年はずごく暑くて、来年度も熱くなるかっていうのは、なかなかわからないことなんですけど、ちなみに、今年の釧路沖の海水温が平年より5度ほど高くて、5度高いというのが最低気温に影響してくる。深層だいたい30mまで海水温が高くて、おそらく1、2年では元に戻らないだろうというのが気象庁の見解で、3、4年はそのまま温度が高いままです。ので、全体的に気温が下がったとしても、海水温が高いので、非常に暑いことが続くと思ひます。ですからお金はかかるのですけれども、子供たちのためにぜひ設置をご検

討いたきたいです。また、川湯中学校ですと、職員室がすごく熱いので、高齢の方のためにも、職員室の設置を、よろしく願いいたしたいと思います。

町長: これらも随時検討しながらやっていきます。文部省や北海道の方でもある程度予算化されるのではないかと考えています。これらも注視しながら対応してほしいと思います。残りは町が出してもいいからやっていきたいと思います。

菅原委員: 弟子屈高校の魅力化と支援について、町の子供がどんどん減っていくので、弟子屈高校の入学率も下がっていくっていうのも、先ほど課長の方からお話あった通りですけども、今、通わせていて、やはり給食の無償化が1番すごくありがたい。昼に安心して一食ご飯を食べさせられるっていうのは、本当はありがたいと思っています。もう1つ、こどもを公設塾に通わせていますけれども、全員が全員通っているわけじゃないですけど、家ではなかなか勉強できない環境でも、公設塾に行ったら勉強せざるを得ない状況になりますので、ありがたいなと思います。入室時には顔写真がメールで送られてきますし、帰りは夜9時ぐらいまで遅くなりますけども、退室時にもメールが送られてくるので、今日、塾行ったなとか、もうすぐ帰ってくるのがわかります。すごくいい環境だということを町外に発信して、地域未来留学制度の方に申し込んでいただいて、町外からでも弟子屈高校に通いたいという子供が増えればいいなと思っています。こどもが増えるということは、住む環境が必要になってくるので、それも踏まえながら、今後ともに考えていただけたらなと思っています。

町長: これらについても、アパートなどでの対応や、町外から来る子供たちにはそれらもきちっと手当、予算していくような方向を作ったらいいなと思っています。そういうことも含めて、今アパートが足りなくなってきたから、これらをどういう風に解決していくか。ホテル摩周に1人、鶴居から来た子がいますけども、ホテル摩周や民宿などに入れてあげた方がいいかもしれませんので、いろいろ検討しながら対応をしていきたいと思います。

宮田委員: 不登校児童生徒に関する取り組み等について、私自身の体感として、確かに弟子屈町が不登校の児童生徒さん多いなっていうのを昔から感じておりました。今回、10月末現在までで減少傾向と、歯止めがかかっているという数字が出ており、限られた人数の中で学校の先生方、教職員の皆さん、頑張ってくださっているのだなと思います。不登校の原因は生徒それぞれで、完全に把握も理解もできないのが、1番大きいと思います。例えば、思春期の方に最近多いのが規律性調節障害と言って、夜は起きられるけれども朝起きられない。学校に行きたいけれども、部活の時間からならいけるとか。そういう生徒さんも結構いらっしゃいますし、子供が少なくなってきたり、少子化プラス保護者の皆さんの情報収集には長けてきています。子供が少ないからこそ、きめ細やかな指導や教育が求められている中で、この不登校に対する取り組みも、ほんとに先生方は限られた人数の中で頑張ってくださっていますから、町としても更なるバックアップ、支援をお願いしたいと思います。

町長:いろいろな不登校の原因を探しながら快くサポートして、社会人として自立していくことが大事じゃないかと思います。決めつけられないから大変だとは思いますが、これらについてもご協力をよろしくお願いします。

○社会教育関係

説明:教育委員会社会教育課 藤森課長

(1)町民のスポーツ、文化、生きがい活動の推進

1つ目の、町民のスポーツ、文化、生きがい活動の推進であります。まず、子供たちが主に利用しているスポーツ及び文化に関する、大会出場経費への助成につきまして、様々な物価の高騰を踏まえ、子育て支援の一環として、1番ウエートの大きい宿泊費対象額の引き上げによる負担軽減を図ってまいりたい。このほか、町民アンケートにおいて高い評価をいただいた、公民館事業につきましては、引き続き、地域の自然や人材を活用した事業を積極的に企画するとともに、年々学級生が増加している生きがい講座は、学級生同士の交流はもちろん、新年度については、コロナで中断していた白糠町との交流につきまして、先方より、ぜひ受け入れしたいとの連絡があったことから、実施をさせていただきたいと考えております。また、社会教育関連施設につきましては、近年、老朽改修や環境改善にかかる工事を計画的に実施させていただいているところではありますが、まだ老朽化対策や安全対策が必要な施設があることから、緊急度の高いものについて予算要求の準備を進めているところでもあります。

(2)図書館・プールの新施設移転に向けた準備

2つ目の、図書館・プールの新施設移転に向けた準備であります。中心市街地再構築事業につきましては、現在、実施設計の段階で、原課として、現状、特段大きな動きはありませんが、今後、円滑な移転に向け、特に、図書館に移転に関する業務のボリュームが 大きくなることが予想されることから、慰労なく進めるため、地域振興係と連携を密にするとともに、別途何らかの対応が必要となった際には、よろしくお願ひしたいと思ひます。

(3)新たな文化財指定に向けた取組み

3つ目の、新たな文化財指定に向けた取組みにつきましては、今年度の文化財専門委員会において、半世紀以上の歴史を有し、地域を挙げて取り組んでいる川湯ばやしと希少で学術的にも価値のある、更科源藏氏の自筆原稿などの資料につきまして、町の文化財への指定に向けた調査研究すべきとの決議があったことから、それぞれ検討を進めてまいりたいと考えております。

(4) アイヌ政策推進交付金活用事業の推進

4つ目のアイヌ政策推進交付金活用事業の推進であります。現在、交付金を活用している事業といたしましては、屈斜路コタンのアイヌ文化の歴史を記録、保存するアーカイブ化事業を行っておりますが、その成果を、今後改修を予定している資料館の展示資料やアイヌ文化の伝承活動に活用すべく、新年度も引き続きアイヌ文化振興事業に取り組んでまいります。また、資料館の改修につきましては、事業スケジュールの関係で、実施設計が令和7年度に1年繰り延べとなることから、令和6年度は交付金の対象外となりますが、改修にかかるしっかりとした基本計画を策定し、翌年の実施設計につなげていきたいと考えております。

教育長:管理課と社会教育課から、重点事業の課題となっていることを説明しました。子供たちの教育環境、それと特に公民館事業を中心とした高齢者の生き甲斐、高齢者の元気で生活していけるような事業、福祉課、健康こども課の事業もありますけども、公民館としての生きがい事業も含めて、文化やスポーツの振興に今後も連携しながら力を入れたいという風に考えています。予算含めて色々協議させていただきますので、今後ともご理解ご支援をお願いいたします。

○各委員からの意見

吉田委員:まず、図書館の移転ですけども、これについての利用者が負担にならないように、移転をスムーズにお願いしたい。もう1点、新たな文化財指定ですけども、先ほどありました2件、川湯ばやしですけども、福井県から昭和46年に来たということで、50年以上にわたって川湯地域で一体となって伝承をしてきました。先日、町の文化祭でも披露され、他にもあちこちで披露、お披露目されているのですけども、町の代表的な芸能文化の1つです。町の発展、振興に大きく寄与されていると思います。今後、福井に足を向けまして、文化財の指定に向けて、調査研究を行う予定でありますので、よろしくお願ひしたいと思います。もう1つ、更科源藏の資料ですけども、今、資料館の方で、自筆の原稿資料が保存されているのですけども、現実、あまり保存状態があまり良くないと研究者の方から指摘されています。先日、日置の記念式典の前に、午前中、鹿児島市内の黎明館という博物館に行って、島津家の資料を見てきました。やはり綺麗に保存されています。町の文化財に指定し、今後は利用者がちゃんと閲覧できるように、保存、保管するため、文化財の指定をしていきたいと思ひます。今後の調査の研究にご理解賜りたいと思ひます。

教育長:社会教育分野も、子供からお年寄りまでと幅広いので、非常に担当者が苦勞している。あるいは、いっぱい参加してもらうよう努力していて参加者からもすごく喜ばれている事業がたくさんあります。文化財の関係は、今年、学芸員が1人増員になって、専門的に文化センターにいて、いろいろな説明を含めて行う体制が整っているから、やっぱりこういう更科さんの資料も、今まで以上にきちっと整備できるのではないかと考えていま

す。予算がかかる場合、その都度相談させていただくので、ご理解願いたいという風に思っています。

町長：以前新聞に掲載されていた。優秀な学芸員が来ているから、中心になってそれに肉付けしていけば出来るようになる。貴重な資料だから保存していった方がいい。やれる時にやらないとできなくなる。弟子屈町にはアイヌのチャシ跡が 50 か所もある。これらを調査するだけでも、貴重なものが出てくるかもしれない。

教育長：川湯ばやしについて、子供たちは小学生のうちからやっているが、大人が逆に少なくなってきた。町の文化財としてきちんと指定して、川湯の再生を図るためにも、これから来る観光客に見せることができれば相当いいものになる。福井県に行って調査し、了解ももらわなければならないので、予算についてもぜひ検討をお願いしたい。

3. その他

○弟子屈高校における給食提供に関するアンケートについて

説明：学校給食センター 坪井副所長

今年度から、新たに弟子屈高校への支援の一環として希望する生徒に無償で給食を提供しておりますが、満足度や配膳作業時間などの影響を把握し、今後の学校給食運営の参考とするため、生徒と保護者を対象に 10 月 3 日にアンケートを実施しました。結果といたしましては、Q2 のお子さんは給食を取っていますか？では、取っているが 89%、取っていないか 11%で、約 9 割の方が給食を取っております。取っていない方の中には、極度の偏食で給食を食べられないお子さんがいるとお聞きしております。Q3 の給食提供についてどのように思っていますか？では、大変喜んで、喜んで、合わせると 95%の方が喜んでおりますが、残念ながら 3 名の方があまり喜んでいないという結果となっております。Q4 の給食の量については、81%の方がちょうどいい。Q5 の保護者の方は給食提供について、どのように思っていますか？では、1 名の方があまり助かっていないと回答されておりました。Q6 の給食の配膳作業についてはということで確認したところ、大変ではないが 76%で、生徒の負担にはあまりなっていないという結果でありました。Q7 の給食時の飲み物は、約半数の生徒が自宅から持参しております。中には飲まない生徒も 1 割程度おりました。最後に、Q8 で、来年度も給食を希望しますか？では、8 割以上が希望すると回答しておりましたが、4 名の方が希望しないという結果でもありました。自由意見では、感謝の言葉が大半でございました。中でも、給食のメニューが大好きすぎて、作り方を教えてほしいという暖かいご意見もございました。以上、簡単ではございますが、給食アンケート結果についてご説明とさせていただきます。

町長：いい結果が出ている。できれば少しお金がかかっても、消費拡大で牛乳を飲んでほしい、飲んでほしいとなった時に、牛乳だけではなくて地元で生産しているアイスクリーム

とおっぱいミルクやヨーグルトも提供するとか、脱粉を使用している製品も対象に入れてほしいと農林課にも言っている。地域で頑張っている人のもの、これからチーズ工房も出来上がって始動するので、いろいろな物をうまく組み合わせるとか、たまにはオリエンタルランドのイチゴを出すとか、町の特色として提供していった方がいいと思っている。暑い時にアイスを月に1回出せば、こどもたちも喜んでくれるのでやってほしい。弟子屈町には地場産食材がたくさんあるので、関係機関と協力してメリハリをつけた特色のある給食を工夫して提供してほしい。子供たちに食の大事さを教えてあげたい。

政策調整係 佐々木:姉妹都市交流している日置市の食材(さつまあげやみかんなど)を使った給食を提供してもらえたらと思っていました。また、玉川大学と包括連携協定を締結している他の自治体の食材を使った給食メニューも面白いと考えていました。

金井委員:給食ではないのですが、玉川大学では、ポンカンをガシャポンの中に入れて100円入れて買えるようにしている。遊び心でやったものが面白いと好評で結構売れています。

○令和6年度当初予算などについて

説明:まちづくり政策課 三上課長

- ①令和6年度予算編成方針について、資料配布させていただいております。11月9日に行われた職員向け説明会の時の資料となっております。詳細は申し上げませんが、こうした方針のもと新年度予算編成を行っております。後ほどご一読いただければと思います。
- ②鹿児島県日置市の姉妹都市交流盟約締結40周年記念式典に、町長、教育長をはじめ、吉田委員、宮田委員含め、39名で出席してまいりました。式典では、記念品の交換、書籍の贈呈ではシーニックバイウェイのみなさん、草野作興さんから、永山在兼氏の功績などについての本が贈呈されたところであります。自分も出席して思いましたが、大変手厚い歓迎を受け、すごくありがたかったです。来年は市民ツアーがございます。皆様の協力が必要となりますので、どうぞご協力をよろしくお願いします。

総合教育会議はこれで終了となります。今後、緊急的な事案が発生した場合、急遽皆様にご案内することもありますので、その際にはご協力をお願いいたします。以上で令和5年度、第1回総合教育会議を終了いたします。